

エクスプローラは、Windows でいろいろな処理を行う為の基本となるアプリケーションです。一般とは違う**プログラマとしての設定**を行うには、 タブの右端にある アイコンをクリックします。そして表示されるダイアログの タブでいろいろな設定を行いますが、重要なのは以下の4つです。

- 1) 『**開いているフォルダまで展開**』に**チェック**
- 2) 『タイトルバーに を表示する』に**チェック**
- 3) 『 ファイルを表示する』に**チェック**
- 4) 『登録されている は表示しない』の**チェックを外す**

エクスプローラのアドレスバーでは、いくつか特殊な入力で特定のフォルダを開く事ができます。

- 1) => 環境変数の TEMP を使用したコマンドプロンプト用の記述で**テンポラリフォルダ**が開く
- 2) => ファイルを選択して右クリックで表示される『**送る**』フォルダが開く
- 3) **shell:** => ユーザ用の**スタートアップフォルダ**が開く

エクスプローラでファイルのフルパス文字列をクリップボードにコピーするには、 キーを押しながら右クリックすると『**パスのコピー**』と言うメニューが追加されます。**フォルダを同様にして右クリック**すると『 **ウィンドウをここで開く**』というメニューが追加されるので、実行後**コマンドプロンプトの実行アプリ**を入力するとそのフォルダでコマンドプロンプト処理が可能になります。

ファイル情報の幅を**自動調整**するには、一覧部分にフォーカスを置いて **CTRLキー +** キーを押します。

表示タブの**プレビューウィンドウ**を使うと、一般的な ファイルや Excel の内容や画像を表示することができます。

画像の幅と高さを確認するには、エクスプローラから右クリックして を選択して、 タブを開きます。そこに**イメージ**という場所があるので確認してください。画像の大きさは、**Google Chrome** の場合、タブにドラッグ&ドロップして表示させて、タブの 部分にカーソルを置く事で、メッセージがポップアップされるのでその内容で確認できます。